

# RPA導入支援委託料



予算額 4,372千円	市長公室 デジタル推進課	予算書 P 54	新規・拡充
-------------	--------------	----------	-------

パソコンへのデータ入力などの単純・定型作業を、ロボットソフトに代行させるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入し、職員を単純作業から解放及び業務の効率化を図るとともに、働き方改革の一助とする。

## 【背景】

- ・現在、データの入力作業などの単純かつ定型的な業務を、職員が手作業で実施している。
- ・一方、国の「デジタル・ガバメント実行計画」では、「限られた経営資源の中で、持続可能な行政サービスを提供し続けていくために、AIやRPAを積極的に活用すべき」とされている。
- ・こうした背景を踏まえ、市でもRPAの導入に向けた検証を進めた結果、職員の負荷軽減・作業時間の削減・入力ミスの防止といった効果が認められたため、RPAを導入するものである。

## 【事業概要】

- ・職員が主に利用している2つのネットワーク環境にRPAを導入し、業務効率化を図る。
- ・また、RPAに作業を代行させるための「シナリオ作成」について、難易度が高い作業のシナリオ作成は業者に委託することで、より多くの作業・業務でRPAが活用できるよう、運用面での支援も実施する。

## 【財源】一般財源（特別交付税の措置有）

## 【事業費内訳】

① RPAライセンス費用（2ライセンス）：1,998千円

② 保守サービス費用：2,374千円

- ・ 初期セットアップ作業
- ・ 操作研修会
- ・ オンサイトサポート
- ・ ヘルプデスクサポート
- ・ シナリオ作成（高難易度：2業務程度）